

平成 20 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社淀川製鋼所
 (URL <http://www.yodoko.co.jp>)
 代表者名 取締役社長 國保 善次
 (コード番号 5451 東証・大証 第1部)
 問合せ先 経理部長 林 真生
 (TEL. 06-6245-1113)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 15 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 平成 21 年 3 月期通期業績予想（個別）の修正

個別業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

| | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|---------|-------|--------|-------|-----------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 134,500 | 5,600 | 7,600 | 4,700 | 28 円 17 銭 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 128,000 | 7,900 | 9,900 | 4,300 | 25 円 77 銭 |
| 増 減 額 (B-A) | △6,500 | 2,300 | 2,300 | △400 | — |
| 増 減 率 (%) | △4.8 | 41.1 | 30.3 | △8.5 | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期) | 122,070 | 7,440 | 11,162 | 5,838 | 34 円 63 銭 |

2. 業績予想修正の理由

景気は急激に悪化しつつあることから売上高は減少する見通しですが、主原材料熱延鋼板価格の大幅な高騰による在庫評価益の発生、製販一体となつての経営効率化によるコスト削減、副原材料亜鉛の購入価格下落などの影響により、営業利益、経常利益は増益となる見通しであります。なお、当期純利益につきましては、平成 20 年 10 月末時点の時価で有価証券を評価したことの影響により、減益の見通しとなりました。

3. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想（個別）と実績との差異

個別業績予想数値と実績値との差異（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

| | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|--|--------|-------|-------|-------|-----------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 66,200 | 3,200 | 4,900 | 3,200 | 19 円 18 銭 |
| 今 回 実 績 (B) | 67,744 | 5,358 | 7,058 | 3,718 | 22 円 29 銭 |
| 増 減 額 (B-A) | 1,544 | 2,158 | 2,158 | 518 | — |
| 増 減 率 (%) | 2.3 | 67.4 | 44.0 | 16.2 | — |
| (ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期) | 57,642 | 3,583 | 6,401 | 3,493 | 20 円 68 銭 |

4. 業績予想との差異の理由

熱延鋼板価格の高騰について、顧客の一定のご理解が得られ販売価格の改定により増収となりました。増益理由につきましては、上記「2. 業績予想修正の理由」と同様であります。

(注) 上記の業績予想数値は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上